

## 人間経済コース 1年生課題探求学習

「茨城の企業調査」というテーマで、現在、クラス内を5名1班に分けて、茨城の企業を調査し、プレゼンテーションをおこなう準備を始めました。各班とも、仮想の調査会社を作り、会社名を付けたり、役割分担をしたりして、その中でこれから調査する茨城の会社の選定ができました。

サティスファクション株式会社は、大洗の水産状況を知りたいということで、大洗漁業協同組合を調査する事になりました。そこで、生徒自らアポイントメントを取って、11月1日（金）15:00から大洗漁業協同組合にお話を聴きに、行ってきました。



大洗漁業協同組合（震災時は津波で水浸しだったそうです）

漁業協同組合では、お忙しい中にもかかわらず、理事の方5名と参事の臼庭さんが、お話を聞いてくださり、調査にご協力をいただきました。大洗での水揚げの中心となる魚や、震災前と後での違い、季節の魚や漁獲高などなど、1時間半にわたり聞き取り調査をさせていただきました。その中で、私たちの生活は普通に帰っていますが、漁業関係者は、震災前とは大きく変化したことを感じている様子でした。原発の影響もあり、



風評被害や出荷制限品目などがあることで、取り引きに大きな影響を及ぼしています。大洗名物のしらすは、現在半値以下の取り引きで、とにかく赤字覚悟でも流通経路を絶やさないようにと出荷しているそうです。

今回聞き取り調査で調べた内容を、今後行われるプレゼンテーションで、みんなにしっかり伝えられるよう、まとめていければと思います。

聞き取り調査の様子

生徒は緊張してました

みんなで漁協前で記念撮影

左から臼井さん・飯田さん・根本さん

高橋さん・飯塚さん・小泉さん

生徒 松村・安西・藤代・広長・佐野

